

成年後見制度に関する普及啓発及び市民向け学習会を実施しました

平成29年9月24日（日）小美玉市主催「福祉にっこりまつり」において、成年後見制度の普及啓発を目的として「成年後見制度に関する市民向け学習会」を実施しました。

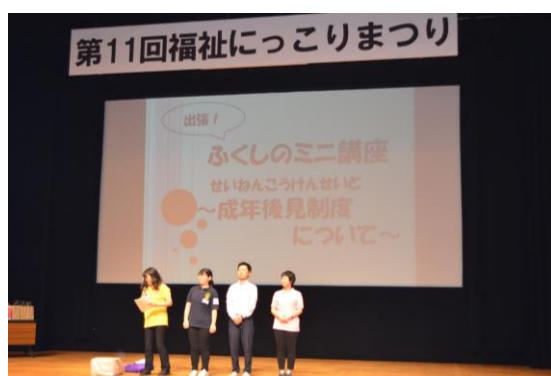
水戸市社会福祉協議会権利擁護サポートセンターは、県央地域の9市町村（水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村）と協力して、地域で生活する方の権利擁護事業の一環として「成年後見支援事業」に取り組んでいます。

大ホールで行った、成年後見制度に関する「ミニ講座」には、地域住民の方等75名が参加しました。

「福祉の広場」でのエンディングノート及び成年後見制度の説明には184名の方が熱心に耳を傾けてくれました。

■ 成年後見制度に関する「ミニ講座」を開催

大ホールで行った「ミニ講座」では、「成年後見制度は具体的にどのような困りごとに対応する支援なのか」等、成年後見制度に係る説明を、寸劇を交えながら行いました。



寸劇の内容

一人暮らしの花子さんは、83歳。1年ほど前から物忘れが増えてきました。何をすることも億劫で外出の機会も減り、家でボーっと過ごすことが増えてきました。一人の生活にも不安が出てきました。

そんな花子さんのところへ、悪質商法の業者が訪れ言葉巧みに勧誘され、花子さんはよく説明も聞かないまま、浄水器の契約をしてしまいました。その後、花子さんを訪問した民生委員が、花子さんが訪問販売で様々な買い物をしていることや、購入したことを本人が良く理解していないことに気づきました。そのため、心配した民生委員が市役所と社会福祉協議会に相談し、成年後見制度を利用することになりました。成年後見制度を利用したことにより、花子さんは相談をしてから買い物をしたり、福祉サービスを利用し、安心して生活ができるようになりました。



ミニ講座の後に開催した、「福祉〇×クイズ」では、成年後見制度に関する問題が出題されました。ミニ講座で学習した来場者 75名は、「福祉〇×クイズ」で正解を出すことができ、とても喜んでいました。

■ 福祉の広場（福祉の豆知識コーナー）では、認知症カフェと連携して、成年後見制度やエンディングノート等について説明しました。

スタンプラリーに来た子どもたちには、成年後見制度に関するクイズを解いてもらいました。少し難しい内容のクイズでしたが、子どもたちは展示してあるポスター等を見ながら答えを探し、無事スタンプを押してもらうことができました。

○「成年後見制度」や「エンディングノート」の説明に興味深く耳を傾ける来場者



○スタンプラリーに参加する子どもたち

